

千石平



社会福祉法人萱垣会
題字 萱垣幸道

第55号

季刊 千石平 第55号 平成27年9月20日発行

発行人 萱垣光英 発行所 社会福祉法人萱垣会 特別養護老人ホーム 赤石寮
〒399-1612 長野県下伊那郡阿南町新野28-4 TEL 0260-24-2316 FAX 0260-24-2315
E-mail akaishiryo@mis.janis.or.jp



阿南第二中学
の生徒さん達と、
楽しい時間を過ご
し、こんなに素敵
な笑顔に!!
「ありがとう!!」



『最期のときを見つめるといふこと』

特別養護老人ホーム赤石寮 施設長 萱垣憲英

今年度の敬老祝賀会でも、多くの長寿者をお祝いすることができ大変喜ばしく思います。厚労省によると、一九六三年には全国で一五三人だった百歳以上の方が、昨年には五万八千余に上り、今年の国勢調査では六万人を超えることが確実視されている。

世界に冠たる長寿社会となったわが国では、団塊の世代が七五歳以上となる二〇二五年に向けて、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築が急がれている。

具体的には、介護予防・日常生活支援総合事業が二〇一七年四月を目途に、在宅医療・介護連携の推進、認知

症ケアパスの作成・普及、認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員、生活支援コーディネーター・協働体の設置、地域ケア会議の充実等が二〇一八年四月を目途に、全市町村が取り組めるよう期待されている。

また、六月三〇日に閣議決定された骨太の方針2015でも、「都市・地方それぞれの特性を踏まえ、在宅や介護施設等における看取りも含めて対応できる地域包括ケアシステムを構築する。また、人生の最終段階における医療の在り方の検討を行う。」と盛り込まれた。

もはや、二〇二五年に向けて財政的・時間的余裕は少なく、終末期ケアのあり方についても真剣に議論すべき時期に来ている。現在、年間死亡者数は約一二〇万人であり、そのうち八〇

%以上は病院で亡くなっている。二〇二五年には一六〇万人を超えると推計されているが、今後増える四〇万人はどこに行けばよいのか。医療制度は、「病院完結型」から「地域完結型」の医療へと舵を切っており、財政的課題から病床数を削減する一方で、受け皿となる地域の介護力の向上や住民の死生観の醸成は進んでいるのだろうか。

在宅や介護施設で、どのように最期の瞬間を迎えるかについて、私たち介護施設従事者が、生活の場における看取り介護の経験を家族や地域の方へ還元することで、不安の解消に寄与できたら幸いである。在宅での看取りが身近でなくなってから久しいが、ぜひ大切な人と「死」や「看取り」について話をする機会を持ってほしい。最期のときを見つめるといふことは、その瞬間までをどう生きるかについて考えることであり、いまを大切に生きることにつながるのだから。

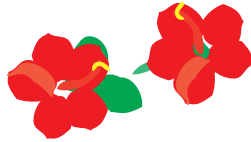
ひだまりユニット

家族会



6月の終わりに、沢山のご家族に参加して頂き、家族会を行ないました。

味ご飯をメインとした昼食と一緒に食べ余興のフラダンスを手拍子しながら楽しみました。



夏まつり



8月1日に毎年恒例の赤石寮盆踊り花火大会がありました。普段食べることができないかき氷や五平餅を食べ職員の踊りや花火を楽しまれていました。



誕生日会



利用者様の誕生日会を毎月行っています。利用者様の希望に合わせてユニットで手作りのおやつを食べたり、外出をして年に1度の誕生日をお祝いしています。



なごみクリニック

ロードレース見学

実施 6月7日



参加者約千人で行われたロードレースの応援をいっしょうけんめい行ないました。



家族会

実施 7月12日



全員が楽しく家族会ができました。額縁の中へ思いを書いたしターや、自分の希望する思いをお願いしました。

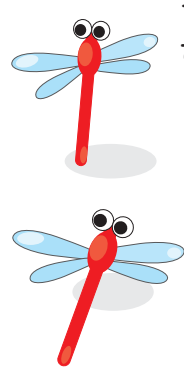


レクリエーション

実施 6月7日



ハエタタキで絵の昆虫をたたき捕るというゲームです。たくさん捕ろうと真剣です。



流しソーメン

実施 8月20日



久しぶりに流しソーメンをしました。スツツは道具を作るのが大変だったと思いますが、良く流れおいしいおいしいと言って食べて頂けました。



〈あじさいユニット活動の記録〉

ユニット内でレクリエーションや外出を企画したり、赤石寮の全体行事に参加します。

職員はただ参加するだけでなく、利用者様に楽しんで頂ける様に積極的に関わり盛り上げます。

これからも利用者様が生き活きと毎日を過ごせるような活動に取り組んで行こうと思います。

あじさいユニット



四月、少し暖かくなってきたので散歩に出掛けました。



「鬼が来たぞ！…って気付いてます？」



鯉のぼりを見に中庭へ。ピース！

皆で苺狩りへ。「美味しくて食へすぎちゃうわ！」



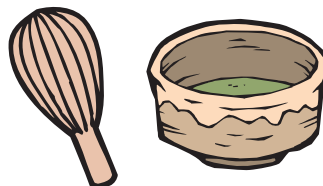
「この織姫、私に似てるっ！」



お抹茶会にて、「お客様、もう少々お待ち下さいませ。」



ひまわり畑までドライブ
「皆立派に育ってるなあ」



「これはうまいなあ！」



デイサービスセンター

はなの本荘

デイサービスでは、月々土曜日まで毎日三十人前後の方達が利用されます。日々の生活では個人ファイルを作り、それぞれの記憶に残った事(食事等)を書いたり、塗り絵、ちぎり絵、脳トレペーパーに取り組んだものをファイルします。それぞれ個性が感じられます。昨年十二月、初めて忘年会を企画し食事、職員の出し物を楽しんで頂きました。



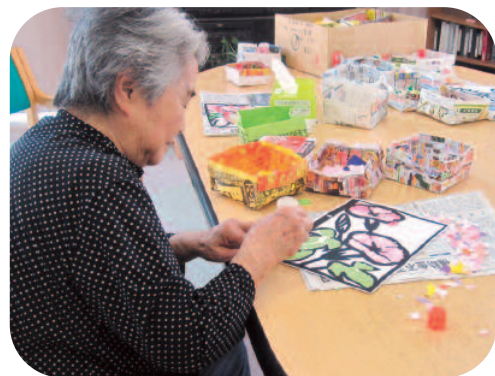
初めて鍋を囲んだ忘年会の食事



壁一面個性あふれるちぎり絵がきれいです



職員のハンドベル (はなのき小町ーず) 静かに聴きます



集中する作業風景



ペットボトルの砂時計ゲーム、豆を早く落とすのに熱が入ります

赤石合同でみんなで走ろう 駅伝大会 参加(赤石かけっこクラブ)



赤石夏祭り職員達のお祭りマンボを踊り、楽しかった!



新野高齢者生活支援ハウス

支援ハウスの方達は、曜日別でデイサービスを利用されます。昼食の人数が少ない日がありますが、全員そろつた夕食は、会話がはずみます。廊下は雑談の場所、穏やかな笑い声が心地よく響きます。畑の花は、少しずつ数を増やして目を楽しませてくれます。

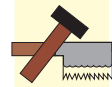


「久しぶりの餅ひろいだなあ」
「こっちへ、投げてよ」



支援ハウスの皆さんといっしょに餅ひろい。
その後、木の温もり、匂いを感じながら、お茶しました。

東屋完成!!



ーヨツ棟梁ー

グループホーム
やすらぎの郷

一焼イモ大会一



雪の積もる中でも安心。
座って見学できました。



「寒い時の焼きイモは最高です」

一 家族会 一



慣れた手つきで魚を刺して



「ホレ…できたぞ〜」



今年はシートを張ることなく
屋根下で焼き物できました

「ミカンが
なりました」



一 お花見 一



天気が良かったのでお昼食へに出ました。
ウグイスの声も聞こえました。

調理室だより



今年の夏は各地で暑さが厳しく、涼しいと言われるこの新野の赤石寮でも同じでした。

利用者の中で食欲を落とす方もおられて、心配されました。

連日、熱中予防に水分補給をするように騒がれており、赤石寮でも脱水症を防ぐことに気を配る日が続きました。

赤石寮は、ムセがある利用者が多くを占めているので、トロミ剤を使用する以外にも、利用者のレベルに合わせた形状の物で摂れるように、数種類用意しています。

そのお蔭か、利用者は水分不足になること無く、夏を乗り切れたと思っています。

齢を取ると喉の渇きが鈍くなると言いますが、食事を摂るだけでなく、水分補給がしっかり出来る環境が大切だと感じました。



医務室だより



今年是一段と暑い日が続きました。少しでも雨が降ってくれたらと思いつつも日々が過ぎ、ご利用者の皆さんには熱中症、水分不足にならない様にと、いろいろ工夫をしながら水分を取って頂きました。

数人体調を崩しましたが大事に至らず良かったです。

新野高原の暑さもお盆までと言われています。朝、晩めっきり涼しくなり、寒いと話をされるご利用者様もいらっしやいます。温度変化にも相違があります、ご利用者の皆さん、職員一同健康管理に注意し日々穏やかに、楽しく過ごしたいと思います。

私たち福祉サービス提供者は、利用者の方や家族の方々が常に気持ちよくご利用いただけるためにサービスの向上に努めています。福祉サービスに関するご意見やご要望、苦情がございましたら、いつでもお気軽にお申し出ください。

平成 26 年度 阿南エリア苦情報告

苦情内容	件数
① サービス利用に係わる事項	1件
② 職員の接遇	0件
③ 事故・被害・損害	0件
④ 利用者間のトラブル	0件
⑤ 建物の構造に対する要望	0件
⑥ 法人・施設・事業所運営に対する要望	0件
⑦ 契約内容に関する要望	0件
⑧ 制度・施策・法律に関する要望	0件
⑨ その他（事務）	1件
⑩ その他	1件
合計	3件

	赤石寮	新野デイサービス	新野ホームヘルプ	赤石寮 居宅介護支援	やすらぎの郷
苦情受付担当者	松澤 教子	堤 幸文			金田 靖子
苦情解決責任者	萱垣憲英（阿南エリア長）				

事業所の職員に言いづらい場合は、第三者的に公平な立場で相談にのってくれる「第三者委員」にご相談ください。

第三者委員氏名	電話番号
佐川金寿様	0260 - 24 - 2211
田嶋美枝子様	0260 - 24 - 2355
土屋好文様	0260 - 24 - 2577